<学校教育目標>自ら考え,主体的に判断し,行動する,心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成









3月 弥生

長崎市立女の都小学校 学校だより

令和5年3月1日 文責 校長:松田伊知郎

くめざす児童像>

- ともだちとみがきあう思いやりのある子

ついに3月。 肌寒い朝があっても日中は暖かくなり、 最高気温も少しずつ上がってきています。 晴れの日はもちろん、 そうではない日も外の明るさが違ってきているようにも思えます。

学校では、各学年で「6年生を送る会」に向けての準備が進んでいます。特に1~4年生は卒業式への参加がない ため、学年全体で6年生と向き合う最終となるこの会に向けて、ありったけの感謝の心を込めて取り組んでいます。



~ 3月全校集会 校長講話から「極める」

今年度最終の校長講話です。

今年2023年は、バスケットボール、ラグビー、サッカーなどたくさんのスポーツのワールドカップが開催されます。野球の世界大会ももうすぐ始まります。このような代表チームのメンバーに入るのも、このような大会で更に自分やチームのレベルを上げるのもすごいことです。今日は、そんな「プロ」に学んでほしい『極める』ということについて話します。

極めるためには『なりたい自分になるための努力』を重ねます。「できなかったことをできるようにする」「できることをもっとできるようにする」練習や「思い」を強くもつことは当然ですが、極めた人はそれ以外のこともしています。どんなことをしているのでしょうか?

それは、1つのことに集中するため、また「なりたい自分」になったときのために、その1つのこと以外もしっかりと学んでいるということです。例えば、なりたい自分に合った食事や休養、睡眠の仕方を学び、自分の心や体を整える勉強、たくさんの人と気持ちよく関わるための接し方やいろいろな国の言葉、習慣の勉強などです。これらを一人で学んだり、コーチや家族など多くの人たちに教えてもらったり支えてもらったりしています。

これを私たちに当てはめて考えてみましょう。皆さんは「自分は何のプロでもない」と思うでしょうが、「子供のプロ」であり「小学生のプロ」です。「なりたい自分」もしっかりと描いていて、家族の一員として、また女の都小学校の児童としての努力もやっていることでしょう。「どういうことをする」または「しない」のが「プロ」なのか、よくわからないことや細かなことは家族や先生と確認して、まず実行してください。そして、「極める」ために、学校や家での過ごし方、学習の仕方、他の人との接し方も考えて実行してみましょう。

今の学年として登校する日は、今日(2月28日)を合わせても1~4年生17日、5年生18日、6年生13日です。そしてその次の登校の日は、次の学年になっています。これから先の日々を「極めた生活」にしていきましょう。

上記の講話を3月の全校集会(2月28日実施)で行いました。今の学年での生活もあと少しになりましたので、 是非とも現段階として「極めた」生活をしてほしいと思いますし、今後も「極める」気持ちを忘れないでほしいと願っています。また、この講話の原稿作成にあたり、「自分は『大人のプロ』『夫や父親としてのプロ』『教職員のプロ』 になっているのだろうか。また、そうあらねばならない」という自戒の念も湧き、まだまだ学び続けなければならないと痛感した私でした。皆様はいかがでしょうか。よりよい「自分のため」「家族のため」「職場集団のため」、大人も高みを目指して極めていきたいものです。

~ 子供も大人も、卒業に向けて頑張っています ~

学校として最も重みのある行事が卒業式です。これには、厳粛な式典への参加の仕方を学ぶという教育的な価値 もありますので、所作などの練習も必要になります。その価値を大切にしつつ、卒業式当日を主役である卒業生の 思いやそれを祝福する周囲の思いを表現することができる温かみのある日にしたいと考えています。

式典やその日だけでなく、朝の自主活動の時間に清掃活動を行う6年生など、それぞれの思いを通常の活動から 少しずつ形にして過ごしている児童もいますし、職員も最大限の頑張りで準備等を進めています。この機会に、御 家庭でも「夢」や「感謝」などの思いとその活かし方を話題にしてみてください。

☆ ☆ ☆ 頑張ってます!! 女の都っ子 ☆ ☆ ☆

第72回小中連合美術展	
<図工の部>	<書写の部>
1年	1年
2年	2年
3年	3年
4年	4年
5年	5年
6年	6年

第68回子ども県展

<絵画の部 入選>

1年

2年

3年

4年

<版画の部 入選>

2年

3年

4年

5年

6年

女の都小育友会 「いじめ防止標語コンテスト」

校長賞

4年

一人じゃない みんな仲良し 楽しいな 育友会長賞

4年

いじめの矢 はなっちゃだめ 友達に 笑顔の女の都賞

1年

ともだちが いやがることは やめようね